

1 経営戦略の基本

（1）経営戦略の背景・目的

「経営戦略」とは、今後 10 年間における下水道整備や施設の更新等の投資的な支出とその財源からなる**資本的収支**と、下水道使用料金や事業運営に必要な費用などの**収益的収支を試算**し、将来にわたり**持続可能で透明性のある経営的収支を示す基本計画**となるものです。

津島市では、昭和 39 年から使用している「単独公共下水道」と平成 22 年から使用している「流域関連公共下水道」の 2 つの公共下水道を有しており、それぞれ異なる課題を抱えています。

単独公共下水道は、50 年を超える多くの施設で老朽化が進んでおり、施設の更新や耐震化には多大な費用が必要となります。

一方、流域関連公共下水道では、下水道未普及地域の解消に向けた新規整備を進める必要がありますが、これまでの投資による企業債償還額は増大しています。

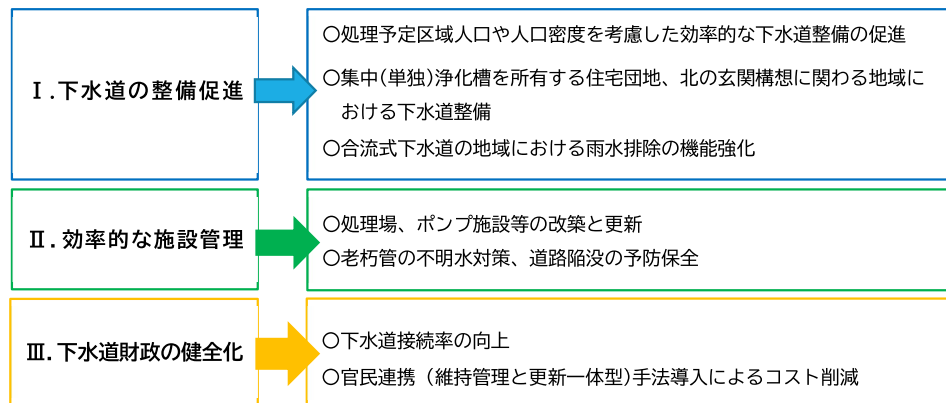
このような課題の解決に向け、近年の物価高騰等の急激な事業環境の変化も踏まえ、令和 2 年度に公表した「津島市下水道事業経営戦略」を見直し、安心・安全で安定した事業経営を推進していきます。

（2）計画期間

令和 8 年度（2026）から令和 17 年度（2035）までの **10 年間**

2 経営の基本方針

本市の下水道事業において持続可能な事業運営に向け、「安全・安心・持続的な下水道経営」を基本方針とし、将来にわたり下水道サービスを持続的に提供してまいります。



3 下水道事業の収支計画の前提条件

必要な更新投資額等の収支計画は以下の条件のもとに試算しました。

①使用料収入	水洗化世帯数の増加を見込み、使用料収入を算出
②投資の財源	国の交付金（補助率 1/2）と企業債の活用
③繰入金	繰入基準に基づく財源の確保
④支払利息等	令和 9 年度より借入金利 2 %を見込む
⑤資金残高	自然災害等の復旧を勘案して 約 2 億円 程度を確保

4 下水道事業の投資計画

令和 8 年度（2026）は当初予算額とし、令和 9 年度（2027）～令和 17 年度（2035）までの投資計画は以下のとおりとします。

（1）污水处理施設等の整備

- ① 流域関連公共下水道では、市街化区域における未普及地域や集中浄化槽を所有する住宅団地などの下水道整備に**総額約 23 億円の投資**を予定しています。
- ② 単独公共下水道では、**下水道幹線と処理場の雨水ポンプ等施設改修の検討**を加速させます。

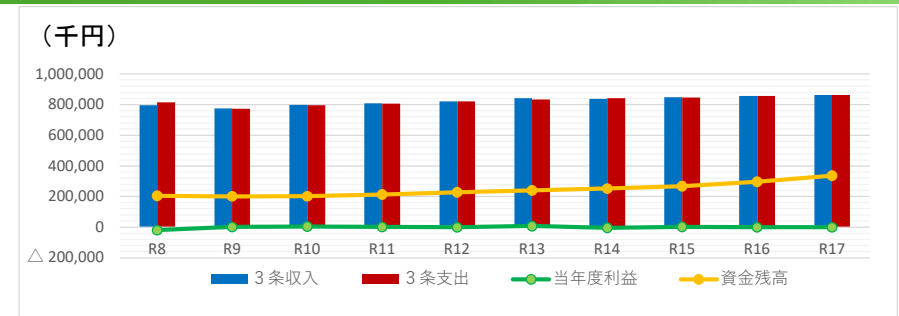
（2）効率的な施設管理

単独公共下水道では、老朽化した合流式下水道管の改築更新に**総額約 10 億円の投資**を予定しています。

（3）健全な事業運営

- ① **10 年間で総額約 33 億円の投資**を予定しており、国の交付金と企業債を最大限に活用して財源確保に努めるとともに、投資額の平準化を図ります。
- ② 流域関連公共下水道では、令和 6 年度末時点の接続率である約 60%を、令和 17 年度には 70% へと **10%向上**させることを目標に、接続促進に向けた施策を行い、使用料収入の増加を図ります。
- ③ 単独公共下水道では、事業運営において維持管理費などの経費削減を図るため、ウォーター PPP による長期契約で管理・更新を一体的にマネジメントする**官民連携手法の活用**を検討します。

5 収支計画の試算結果



【結果】シミュレーションの結果、令和 9 年度以降の**経常損益の基調はプラス収支**となり、災害時の復旧を勘案した**資金残高目標額である約 2 億円は常時確保**できる。

6 経営戦略の進捗管理

- （1）PDCA サイクルによる進捗管理を行うことで事後検証を行います。
- （2）今後の人口動向、事業の実施状況等、様々な下水道事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、**概ね 3 ～ 5 年の期間で見直し**を行います。

